

2014 ハロウィンパーティー

今年もハロウィンパーティーを10月25日に行いました!! 皆さん羽目を外して仮装し、最高に楽しいパーティーになりました!!
 今年の仮装大会優勝商品は5万円相当のUSJプレミアムチケットでした!
 たくさんのご参加ありがとうございました●来年も是非是非たのしみにしててくださいね!!!



1位 ツタンカーメン 4年 荒木 江端

今まで三回出場し、やっと念願の一位をとることができて嬉しいです!!★
 来年は二連覇めざして頑張ります!



2位 佐川宅急便 4年 川口

入賞できて嬉しいです!投票して下さった方々、ありがとうございました!運営お疲れ様でした!!



3位 ふなっしー
 5年 岡村岳 牛草健 内田智久 4年 池田英史

入賞うれしなっしいい!!!梨汁ぶしゃー!

今年も皆さんのおかげで最高に楽しいハロウィンパーティーにすることができました!!沢山のご参加ありがとうございました!
 来年も今年以上に盛り上げて行くので乞うご期待あれ!! ハロウィンスタッフ代表 小田



編集長
 松本 学 (学友会 広報部)

編集部
 長崎大学医学部ぐびろが丘編集部
 長崎医学同窓会
 〒852-8523 長崎市坂本1丁目12番4号
 ☎095-848-5484
 E-mail: ryojun-do@med.nagasaki-u.ac.jp

印刷
 株式会社インテックス

♪ 長大祭 ♪



AN'z

11月22、23日に長大祭が開催されました!

今回は、私の所属している医歯系軽音部の活動について紹介しようと思います (***)

軽音部は、前夜祭、長大祭2日間、後夜祭、の4日間、全学のいくつかのサークルと合同で、学生プラザでライブを行います。ライブ会場の設営は、全て自分達で行います。長大祭に出られるバンドはオーディションで決まり、上位のバンドは環境学部棟前の表ステージで演奏することができます!! 今年もPops、Rock、Jazz、他にも様々なジャンルの音楽が演奏されました!

リフレッシュしたいとき、音楽をみんなと盛り上げて楽しみたいとき、ライブ会場に足を運んでみてはいかがでしょうか? *皆さんの好きなアーティストのコピーをしているバンドもあるかもしれませんよ (^o^) *

写真は、表ステージで演奏された医歯系軽音部のバンド、acroskidとAN'zです!! (荻野恵梨)



acroskid

この一次救命処置について学び、多

救急処置(BLS)というものを実際やってみると、部員みんなが学んでいまして、「目の前で人が倒れた時、医学生として何にも出来ないままではいられない!」そんな、熱いハートを

皆さん、特に二年生、二年生のみならず!座学だけの授業にたいくつしてはいませんか?せっかく医学部に入ったのに、お医者さんらしいことはなかなかできる機会がないし、...そんなみなさんは、ぜひ一度FLANに遊びにいらしてください!



また一次救命の他にも、不定期で勉強会を開いています。生理学やオースキーの勉強会も行っています。先輩方の分かり

●ミーティングを毎週木曜日のお昼休み、医学部食堂2階の談話室で行っています。
 ●連絡先: 0717mtunmi@gmail.com (FLAN部長の連絡先です)

サークル紹介

救命救急サークル FLAN

毎回恒例のサークル紹介♪寒さが身に染みる今日この頃になってまいりました。この寒さをはねのける、あついでいけますよ♡今回は、医療系サークル救急救命サークルFLAN(フラン)についてです★
 皆さん、特に二年生、二年生のみならず!座学だけの授業にたいくつしてはいませんか?せっかく医学部に入ったのに、お医者さんらしいことはなかなかできる機会がないし、...そんなみなさんは、ぜひ一度FLANに遊びにいらしてください!

くの人に伝えていく活動を行っています。色々な大学に出かけたり、近くの中学校にも足を伸ばしています。基本的には自由参加ですが、意欲があればいくらかでも色々な所に出て行くことのできる、とても楽しいサークルですよ!たくさんの方と知り合え、全国にたくさんの方に友達が出来ます!さらに、一次救命処置だけでなく、病院で行う処置(二次救命処置)を学べるチャンスもありますよ。

また一次救命の他にも、不定期で勉強会を開いています。生理学やオースキーの勉強会も行っています。先輩方の分かりやすい講義は、試験勉強の助けになること間違いなし!

一次救命処置・二次救命処置は医師国家試験でも課題として課されることになっています。いまから出来るなんて、大チャンス!少しだけでもいいなと思っていただけFLANに遊びにいらしてくださいね!お待ちしております!

4年生2名が北米病理学会 (USCAP; United States and Canadian Academy of Pathology) にて、 Oral presentation!!

長崎大学医学生、こんなことやってます特集

前号より始まりました、医学生の活躍を紹介していくこのコーナー。今回は、来年3月にボストンで開催される国際学会「北米病理学会（以下USCAP）」でOral presentation（口頭発表）されることになった、4年生の大力睦さんと吉川亮さんのお二人にお話を聞きました。

USCAPは世界中から教授クラスの先生たちが集まる学会。Oralでの発表者枠は分野ごとに10人しかないんです！

— まずはじめに、おめでとうございます。

大力さん（以下、大）、吉川くん（以下、吉）：ありがとうございます！

吉：興奮してます!!

— 福岡先生（第二病理教授）もとにかく大興奮で。叫んでました（笑）

お二人は3年次のリサーチセミナーで第二病理学教室で研究され、その成果が今回アクセプト（学会に研究の要約を提出し、これぜひ発表してください！と認められること）されました。映えある成果を残されたお二人に、リサーチで同じ二病理にいた私、市川がインタビューさせていただきます。よろしくお願いします。

さてさて。お二人は病理に元々興味があったんですか？

大：いいえ！

— そこは元気良く（笑）

大：私は病理が好きだった…とはとても言えなかったです。病理像とか授業で見てもよく分からなかったし、顕微鏡は酔うし（笑）でも、将来は臨床をやるつもりなのでせっかく研究できるならしっかりやりたいと思って。二病理を選んだのは「USCAPに出す」という目標が掲げてあって、大変そうだけどちゃんと指導していただこう！と期待したからです。

— じゃあ初めからそこ（USCAP）は意識してたんですね。

大：いや、でも全く現実味はなかったし、遠い世界のように思っていました。今でも信じられない感じです。

— 吉川くんは？

吉：実はリサーチより前から二病理にはちょくちょく通ってたんです。変な、もとい個性的な先生方ばかりで面白い教室だったので、リサーチもここでできたらなと思って応募しました。今だから言えますけど、僕の病理への第一印象はあまりいいものではなかったんです。日がな一日顕微鏡なんてって。

— 私もだったけど、みんな病理に苦手意識あったんだね（笑）

吉：ところが飲み会につられて誘われた病理のカンファレンスで検鏡の仕方を教えてもらって、そのうちに自分で標本を見られるようになって、しまいには研究室の標本を漁って…という風にハマっていきました。

— じゃあリサーチも楽しかった？

吉：僕は肺胞の3次元的な構造を顕微鏡で観察するとどのように見えるか、また、気腫（肺胞の壁が破れて肺に空気が溜まってしまう病気）になるとどのように変化するのかを研究しました。

肺の疾患を勉強するにつれて、実際に肺の組織って立体的にどんな形なんだろうと疑問に思って調べてみたんだけど、あんまり研究してる論文がなくて。現代医療では多く「見る」技術が活躍してるけど、意外なことに、組織を立体的、かつ、顕微鏡的に観察する技術はあまり進歩してないようでした。そこで、通常の標本作製方法を改良して、組織の立体性を保ったまま染色し観察できるようにしました。ウチの先生方は「吉川法」って呼んでくれています。これを用いて、正常肺と気腫肺を比較したんですが…これを話そうとすると尺がヤバイですよ（笑）今、福岡先生にご指導のもと、論文執筆中なので、乞うご期待ということで。

— 吉川法で染めた肺組織はすごくキレイで面白い！みんなに見てもらいたいな。リサーチ始まったばかりの頃、吉川くんが先生に「肺胞って立体的にどんな形してるんですか？」って、疑問を投げかけたのを憶えています。先生もどうなってるんやろうなあ、見えたら面白いなあって感じで。あそこから始まったんだよね。吉川くんは本当に発想力が凄い。

じゃあ大力さん、リサーチは大変でしたか？

大：とにかくスコアリングが大変でした！！私の研究テーマは、リウマチなどの膠原病に合併する間質性肺炎と、特発性間質性肺炎の病理像の違いを明らかにする、というものでした。膠原病発症よりも前に間質性肺炎が発症するケース

もあって、もし膠原病なら予後や治療方法が特発性間質性肺炎とは違ってくるので、鑑別がとても重要です。だけど、この二つは病理像がとてもよく似ていて、今はまだ判断基準も定まってなくて、病理医の先生方でも診断が難しいと言われていました。

そこでこの二群の症例を集めて、それぞれのスライドについて18項目の病理所見…えっと、例えば、「線維化」とか「炎症細胞浸潤」、「胸膜炎」とかですが、それぞれがどの程度見られるかを0、1、2、3の4段階で評価（スコアリング）しました。その結果、実はいくつかの所見が膠原病の間質性肺炎でより強くなることが分かった、というのが私の研究結果です。合わせて200症例強、枚数にして600枚のスライドをバーチャルスライドで見ました。

— 18×600イコール…。私も全く同じスコアリングをしたんですが、その頃の記憶がありません（笑）

大：一週間くらいずっと籠ってひたすらやったよね。お菓子の消費量ハンパなかった（笑）

— 私は帰り道のアスファルトが肺組織に見えてた。完全に病気でした（笑）

大：スコアリング進捗の表（※写真1）がすごくモチベーションになったー！

— これは良かったよね。15症例終わるごとにシールを貼っていくっていう。幼稚だけど、「見える化」は大事！

では最後に！USCAPへの意気込みをお願いします。

大：病理が特に得意でもなかった自分がこのような機会得られたのは、本当に本当に、この一年間ずっとご指導して下さった先生方のおかげだと思っています。USCAPでは質疑応答で固まる自分しか想像できませんが…悔いのないように頑張りたいと思っています！

吉：世界中の病理のトップエキスパートがしのぎを削る中、僕みたいな学生が力不足なのは火を見るよりも明らかです。ということで、人事を尽くすだけ尽くして微塵に玉砕してきたいと思います（笑）あと、ひよんなぎっかけで生まれた「吉川法」ですが、他にもいろいろ面白い発見に繋がりそうということで、今後も研究の武器にしていこうと思っています。

二病理の先生方、ありがとうございました。今後もお邪魔いたします。

— 二人とも、テスト中の大変な時期にもかかわらずありがとうございました！USCAPはもちろん、なんだけど、その前にテスト…頑張ろうね（泣）

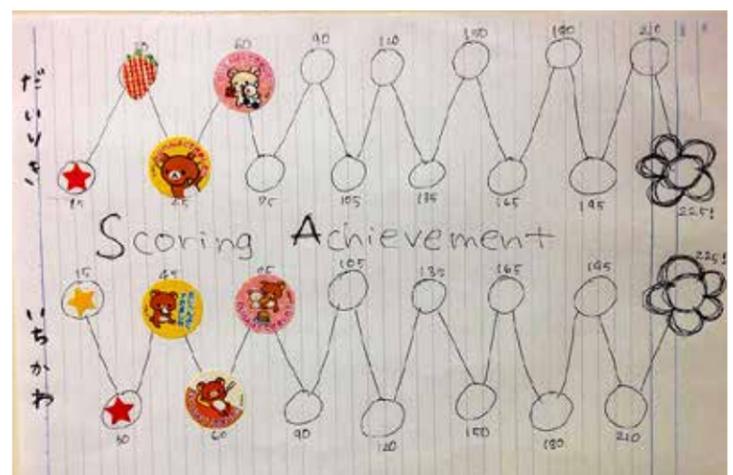
いかがでしたか？学生時代に国際学会で発表だなんて、なかなかできない経験です。お二人の姿は他の学生たちに大きな刺激を与えてくれるものと思います。来年春のお二人の発表の成功を心からお祈りしています！



大力 睦さん



吉川 亮さん



※写真1

精神科セミナーの紹介

「児童精神医学」「発達障害」をテーマとした長崎大学精神神経科教室主催の学生対象セミナーが11月8日、精神科医局で開催されました。長崎大学の学生を中心に30名ほどの参加があり、大盛況でした。このセミナーは、医学生に正しい精神医学知識を普及するため、また精神疾患への偏見をなくすために、長崎大学精神神経科教室が年に2回行っているもので、前回6月7日の「恋愛」セミナーに続いての開催となります。



今回のセミナーでは、実際に診療の現場でも使われている自閉症スペクトラム指数診断テストや、成人ADHD評価テストを学生自身が被験者として体験したあとで、長崎大学精神科准教授今村明先生が解説、助言を行い、学生たちが自分自身の問題として多動性・衝動性傾向やアスペルガー傾向をとらえることで、発達障害について主体的に学ぶという新しい試みがなされました。

長崎大学精神科教授小澤寛樹先生の講演では、映画「モーツァルトとクジラ」や「アイ・アム・サム」など精神疾患を扱った映画のダイジェストを鑑賞しながら、症状を検討、学生全員で討議し、発達障害とコミュニケーションについて考察を深めました。

毎回恒例である漢方の紹介もありました。今回は、株式会社ツムラの坂本樹さんによる小児に使われる漢方を紹介があり、実際に紹介してくださった漢方も試飲しました。飲んだ時にどのような感じにかよって体調がわかる、という面白いものもありました。



黒柳徹子を通じた「トモエ学園」の教育法を紹介し、それを通して現代の教育について考えたり、5年の浦島佳代子さんは「海外在留邦人への精神医療」として小澤先生が行っているASEANにおける日本企業のメンタルコンサルティング業務を紹介して下さいました。

全講演が終わった後の懇親会では札幌出身の小澤先生直伝レシピで作られたスープカレー、通称「精神科カレー」がふるまわれ、参加者のみなさんが交流を深めました。ピリ辛で野菜やお肉がごろごろ入ったカレーを頬張りながら、先生方や他の参加者さんとも話が弾みました。

今村先生のお話が面白かった、アスペルガー症候群などが今までどう捉えられてきたのかという話が興味深かった、カレーが美味しかった！など様々な感想があり、みなさん楽しく参加していました。

今回の開催は来年6月の予定です！そしてテーマは「女性」です。まだ開催までしばらく時間があるのですが詳細はまだ決まっています。入退室自由なので、興味がある話だけでも気軽に聞きにいらしてみたいかがでしょうか。

はじめてのレシピシリーズ

一人暮らしのお料理

「むむい冬の到来ですー！」
みなさん、こんにちは！長崎は今日も肌寒いですねー！遅くなりましたが、新年あけましておめでとございます！お正月を実家で過ごされたかたも、いらっしやるのではないのでしょうか？
ところでみなさん！実家に帰省したりで自炊をしない時、ついつい余ってしまう食材、なにか心当たりがありませんか？
はい！そのとおり！（笑）
玉子です！今回はその玉子を使って、お菓子を作っていきますよー！



こたつでまったり♡ とろふわプリン♪



- 材料 プリン4コ分
玉子(2個)、牛乳(500ml)、さとう(40グラム)
- プラスαのおすすめ カaramelを作しましょう♡
さとう(20グラム)
- プラスα
カaramelを作しましょう♪
さとう、水少々をいれて、茶色くなるまで熱します。
完成したプリンの上にかけてたらカンペキ★

- 作り方
- ①玉子、牛乳、さとうをボールに入れてしっかりかき混ぜます。
- ②①をプリンの容器に入れます。
- ③容器の口にアルミホイルでフタをします。
- ④プリン容器を鍋の中に入れます。容器の高さの半分くらいまで、水を入れます。容器を取り出し、鍋の水を沸騰させます。
- ⑤鍋に容器を入れ、中火で5分、弱火で10分ほど温めます。
- ⑥容器を取り出し、冷蔵庫で冷やします。
- ⑦固まるのを待ちます。
- ⑧出来上がり♡

お手軽にできてしまうこのプリン♪ぜひみなさん、お友達や大切な人と、一緒に作ってみたいですね♡
○ちなみに♪♪
冷蔵庫で冷やす前の、あたたかい出来たてのプリンも、とってもとっても美味しいですよ♡
おためしくださいませ♪



編集後記

今回、西医学とハロウィンを担当させていただきました。大変ならず長崎大学の部活のレベルは高いですね！同窓会誌のほうにも掲載しているので、たくさんの方のOB・OGの先生方にもこの快挙を知っていただけると嬉しいですね。
(松本 学)

今回はUSCAPで発表される二人へのインタビュー記事を作成させていただきました。世界を舞台に活躍する同級生に、尊敬の気持ちを抱かずにはられません。二人とも、がんばれー！
(市川宏美)

最近めっきり寒くなってきましたね！？でも今年エルニーニョ現象で暖冬だとか？！僕は厄年だったこの一年もそろそろ終わります！みなさんよいお年を！
(野本和宏)

今回、長大祭について書かせていただきました。12月になり、寒くなりましたね。寒いけれど、こたつに鍋に、忘年会：楽しいことが沢山の月ですね！皆さん、体調に気をつけてお過ごしください♪
(荻野恵梨)

みなさんごきげんよう！
真冬のこの頃、こたつでゆったりしたい時期ですね！甘いものも、お供にはいかがですか？こたつでプリン、ぜひお試しくださいませっ♡
(和田澄華)

すみかちゃんの試作プリンの恩恵に預かった山本です。幸せです♡固くなってしまいがちなプリンがとろふわで美味でした！少し先ですが次回の精神科セミナーも面白そうですね。
(山本侑季)